

講座名：グローバル人材育成コース

講師：国際人文学部、語学研究センター教員

開講：2025年4月～2026年1月 全35回

本コースは、言語や文化の違いを体験し、多文化共生社会に貢献できる人材を育成するためのコースです。日本語教育に焦点を当て、理論だけでなく、実践を通して「使える知識と技術」を身につけていきます。

授業は、異文化理解からスタートし、ことばの仕組みやことばの科学、ルーツ・アイデンティティ、日本語教育の方法、そして日本語教育の実践へと、1年間を通して段階的に学ぶ構成となっています。

異文化理解では、実際に留学生との交流やゲームを通して、異なる文化に触れたり、異文化という場に置かれたりした時、自分自身はどう反応するのかを体験します。受講生は、その体験を通して、自分自身の新たな価値観に気づくだけでなく、相手を理解することの大切さを学びました。

ことばの仕組みやことばの科学では、言語学のさまざまな分野や、人が言語を身につける仕組みについて学びます。普段何気なく使っている「日本語」をあらためて見つめ直すことで、ことばへの理解を深め、言語としての日本語の特徴や難しさを実感します。ルーツ・アイデンティティの学びでは、多様な背景をもつ人々や多文化共生社会について理解を深めます。また、ハンガリー、中国、韓国、ブラジル、フィリピン出身の教員から、それぞれの国や文化について直接学ぶ機会もあります。実体験に基づいた話に、受講生も興味津々でした。

後半では、日本語教育の実践に向けて、教授法や教材の選び方、学習者へのことばの使い方などを学びます。受講生のほとんどは、日本語教育に触れたことがない方たちばかりです。それでも、学びを重ねることで最後には留学生に対して授業実践をすることができるようになりました。最初はとても緊張していた受講生ですが、実践の回数を重ねるごとにコツをつかみ、たくさんの工夫も見られました。

コースの最後には、留学生を招いた交流会を実施しました。受講生は、折り紙やかるた、あやとりなど、思い思いの遊びを準備し、ことばや文化を越えた交流を楽しんでいました。

当初は内容の難しさから、修了できるか不安を感じていた受講生も、このコースをきっかけに地域の日本語教室でボランティア活動に参加したり、国家資格となった日本語教員を目指したりするようになりました。本コースが一人ひとりの新たな一歩につながったことを、大変うれしく思います。

講座の様子



【お問合せ】
城西国際大学 社会連携課
Mail: clics-jim@jiu.ac.jp
TEL: 0475-55-7685